

(2025年 徳島県公立入試 類似)

- 類似)

- (2018年 岐阜県公立入試 類似)

- (2019年 秋田県公立入試 類似)

- (2018年 大分県公立入試 類似)

- (2023年 沖縄県公立入試 類似)

- (2022年 秋田県公立入試 類似)

1. 仏教を日本の国教として定めることで、大陸の隋や唐と同じような宗教国家を作り、外国からの侵略を防ぐため
2. 仏教を深く信仰していた蘇我氏の独走を抑えるために、天皇の命令が宗教的な教えよりも優先されることを示すため

3. 律令に基づいた厳しい刑罰を導入する前に、仏教の教えによって人々の心を安定させ、犯罪を減らすため

4. 仏教による道徳心と天皇への忠誠心を結びつけることで、豪族たちの対立を抑え、天皇を中心とした国づくりを進めるため

類似)

1. 地方の豪族に対して、その土地の支配権を恒久的に保証する役割を持った点。
2. 蘇我氏などの特定の有力豪族だけが、最高位を独占できるように設計された点。

3. 中国の隋からの使者を接待するためだけに作られた、一時的な儀礼用の制度である点。

4. 与えられた位がその個人一代限りのものであり、子孫には継承されない点。

(2024年 長野県公立入試 類似)

1. 最澄が比叡山に開き、平安時代を通じて新しい仏教の拠点となった。
2. 聖武天皇の命により、仏教の力で国を守るために全国に建てられた。

3. 鎌倉時代、北条氏が中国から僧を招いて禅宗を広めるために建立した。

4. 聖徳太子によって建立され、飛鳥時代の文化を現代に伝えている。

(2019年 神奈川県公立入試 類似)

1. 豊臣秀吉が朝鮮半島への出兵（文禄・慶長の役）を行う際、九州北部の拠点を防衛するために築かれた。
2. 百済を救うために送った軍隊が白村江の戦いで敗れ、唐や新羅が日本へ攻めてくることを防ぐために築かれた。

3. モンゴル帝国（元）の軍隊が九州へ上陸するのを阻止するため、博多湾の沿岸に沿って石造りの壁が築かれた。

4. 卑弥呼が治める邪馬台国の集落を、周囲の敵対する勢力から守るために深い溝と柵が作られた。

(2022年 宮崎県公立入試 類似)

- (2026年 静岡県公立入試 類似)

1. 平城京への遷都を円滑に進めるため、聖徳太子に新しい都の設計と建設の全権を委ねた。
2. 武士の力を抑えるために聖徳太子を任命し、地方の反乱を鎮圧するための軍事指揮権を与えた。

3. 日本独自の国風文化を育てるため、聖徳太子に命じて遣隋使の派遣を停止し、大陸との交流を断った。

4. 天皇を助けて政治を行う役割として聖徳太子を据え、豪族中心の政治から天皇中心の政治への転換を目指した。

(2026年 長野県公立入試 類似)

1. 秦 2. 宋 3. 唐 4. 隋

答え合わせ・解説

問1	答え 2 中臣鎌足	645年に中大兄皇子と協力して蘇我氏を倒し、大化の改新を進めたのは中臣鎌足です。選択肢にある蘇我馬子は飛鳥時代初期に権力を握った人物であり、小野妹子は遣隋使として隋に派遣された人物です。
問2	答え 2 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、天皇に対する忠誠や秩序を保つため	十七条の憲法は、一般市民に向けた刑法ではなく、朝廷に仕える役人（当時の豪族）の政治的な心得を説いたものです。当時は豪族同士の争いが絶えなかったため、儒教が説く「君臣の義」や「礼」の概念を導入することで、天皇を頂点とした上下関係を明確にし、国家組織としてのまとまりを強化しようとした。このため、和を尊重することや、私心を捨てて公務に励むことなどが強調されています。
問3	答え 2 百済	朝鮮半島の南西部に位置した百済は、北から圧力を強める高句麗や、隣接する新羅との勢力争いの中で、日本の大和政権と結びつきました。この交流を通じて、日本へ仏教や儒教といった当時の先進的な大陸文化が伝わりました。
問4	答え 4 天武天皇の時代に、わが国最初の銅銭である富本銭が铸造された。	7世紀後半の天武天皇の時代、国家としての体制を強化する一環として富本銭が作られました。これに続く708年には、武蔵国から銅が献上されたことを記念して和同開珎が発行されます。富本銭は主に儀礼用や限られた範囲での使用だったという説もありますが、わが国最初の「銅銭」という位置づけは歴史的に非常に重要です。
問5	答え 4 十七条の憲法	604年に制定された十七条の憲法は、日本最初の成文法としての性格を持ちますが、現代の法律とは異なり、役人が政治を行う上での「心得」を説いたものです。同じく聖徳太子の政策である冠位十二階は「個人の才能を評価する制度」であり、この憲法とあわせて天皇中心の政治を支える基盤となりました。
問6	答え 4 天皇を中心とした、新しい国家のしくみをつくること	蘇我氏のような特定の豪族が政治の実権を握る状況を打破し、土地や人民を国家（天皇）のものとする公地公民の制などを導入しようとした。これは、当時の中国の律令制度を模範とした中央集権的な国家体制の構築を目指したものです。
問7	答え 4 仏教による道徳心と天皇への忠誠心を結びつけることで、豪族たちの対立を抑え、天皇を中心とした国づくりを進めるため	当時の日本は豪族同士の勢力争いが激しく、国家としてのまとまりに欠けていました。聖徳太子は、仏教という普遍的な教えを敬うことで個人の道徳観を養わせると同時に、天皇を国全体の最高権威として位置づけることで、私利私欲に走る豪族たちを統制し、天皇中心の中央集権体制の基礎を築こうとしました。
問8	答え 4 与えられた位がその個人一代限りのものであり、子孫には継承されない点。	冠位十二階の最大の特徴は、従来の世襲制による地位の独占を打破しようとした点にあります。位は功績を挙げた「個人」に対して授けられ、本人が死ぬと返上されたため、家柄に関係なく常に有能な人材を求めることができました。これにより、豪族たちの勢力を抑え、天皇の権威を強めることを目的としていました。
問9	答え 4 聖徳太子によって建立され、飛鳥時代の文化を現代に伝えている。	飛鳥時代に建立された法隆寺は、現存する世界最古の木造建築物です。仏教伝来によりそれまでの縦穴住居などとは異なる巨大な木造建築（寺院）が造られるようになり、建築用木材として多くの巨木が切り出されました。その結果、周辺地域での森林資源の枯渇を招き、後の時代における資源管理の重要性が認識されるきっかけにもなりました。
問10	答え 2 百済を救うために送った軍隊が白村江の戦いで敗れ、唐や新羅が日本へ攻めてくることを防ぐために築かれた。	7世紀、朝鮮半島では新羅が唐と結んで勢力を拡大し、倭と親交のあった百済を滅ぼしました。倭は百済復興のために軍を派遣しましたが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗北しました。これにより本土への侵攻を恐れた天智天皇（中大兄皇子）は、大宰府を守るための「水城」や、西日本の各地に「朝鮮式山城」と呼ばれる城を築き、国防を急ぎ整えました。選択肢にある「防塁」は鎌倉時代の元寇に対する備えであり、時代背景が異なります。
問11	答え 4 大野城跡と水城跡	白村江の戦いでの敗戦後、唐や新羅からの侵攻に備えて大宰府を防衛するために作られたのが大野城跡や水城跡です。これらは飛鳥時代に整備されました。なお、平等院鳳凰堂は平安時代、東大寺南大門は奈良時代創建・鎌倉時代再建、日光東照宮は江戸時代に造営された建造物となります。
問12	答え 4 天皇を助けて政治を行う役割として聖徳太子を据え、豪族中心の政治から天皇中心の政治への転換を目指した。	推古天皇の時代、有力豪族である蘇我氏の影響力が強い中で、天皇は聖徳太子を摂政に任命することで、血縁や家柄に依存しない官僚制（冠位十二階）などの導入を図りました。これは、特定の豪族に権力が集中するのを防ぎ、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を築くことが目的でした。
問13	答え 4 隋	589年に中国を統一した隋に対して、聖徳太子は小野妹子を遣隋使として派遣しました。これは当時の先進的な文化や制度を直接取り入れ、国力を高める目的がありました。遣隋使はその後、隋が滅びて唐が成立するまで数回にわたり派遣されました。